

落雷から子供を守る 教員のためのフローチャート

落雷による被害を防ぐために、教員がとるべき行動を下表にまとめました。活動等を行う際の参考にしてください。なお、フローチャートで示した行動は一例であり、実際の気象状況や各学校の実態に応じた適切な対応をお願いします。

活動前

朝や活動実施前

雷注意報の有無を確認

気象情報の確認（雷ナウキャスト）

注意報が**ない**。

→活動を実施

注意報が**ある**。

→活動を原則中止

活動中

随時、空の様子を確認

真っ黒な雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
大粒の雨や「ひょう」が降り出す。

これらの状況が**ない**。

空の様子に注意し
活動を継続

これらの状況が**ある**。

活動を中止
すぐに安全な場所へ避難する。

「自分の身は自分で守る」ことが大切です。

雷から身を守るには、

- 建物や屋根付きの乗り物へ避難する。
- 木や電柱から、4 m以上離れる。
(高い木の近くは危険であることから、最低でも、木の全ての幹、枝、葉から2メートル以上は離れる。)
- 近くに避難する場所がない場合は、姿勢を低くする。